

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
公衆衛生看護学方法論Ⅱ (健康危機管理・公衆衛生看護管理)	4年次 前期	必修	講義	1単位 (30時間)	篠田 浩子 ※
授 業 概 要					
<p>地域の健康水準の向上、所属組織の目的達成に向けて行う公衆衛生看護における管理的な活動や機能について、公衆衛生看護活動や経験年数、職位と関連させながら学ぶ。</p> <p>また、大規模な蔓延が懸念される感染症や頻発する災害等健康危機の未然防止、発生時から回復期の対応について学ぶ。</p>					
到 達 目 標					
<p>1. 公衆衛生看護活動における管理的な活動の目的が理解する。</p> <p>2. 公衆衛生看護活動における保健師の管理的な機能について理解する。</p> <p>3. 健康危機を未然に防ぐための事前管理が理解する。</p> <p>4. 健康危機の発生時から回復期における対応が理解する。</p>					
回	学 習 内 容				担当教員
1-4	<p>1. 公衆衛生看護管理</p> <p>1) 公衆衛生看護管理の目的と特徴</p> <p>2) 公衆衛生看護管理の基本となるもの (地域における保健活動の方向づけ、権利保障、公衆衛生看護活動における職業倫理とジレンマ)</p> <p>3) 公衆衛生看護管理の機能 (各管理の機能、新任期から担う管理、経験年数や職位に応じて担う管理)</p> <p>4) 継続教育と専門的自律 (キャリアラダー、現任教育、自己開発)</p>				篠田 浩子※
5	<p>5) 公衆衛生看護管理の実際</p>				
6-15	<p>2. 健康危機管理</p> <p>1) 健康危機管理の基本 (定義・目的・保健所の役割と対象とする健康危機、リスクマネジメント)</p> <p>2) 健康危機の事前、発生時、回復期の対応</p> <p>① 個人の危機 (虐待等)</p> <p>② 感染症集団発生 (結核、新型インフルエンザ等)</p> <p>③ 自然災害 (法律、制度、システム、平時・災害発生時・回復期の対応)</p> <p>3) 健康危機管理演習</p>				外部講師 篠田 浩子※
学 習 方 法					
講義 グループワーク 演習					
評 価 方 法					
<p>[評価方法]</p> <p>科目修了試験</p> <p>・評価の詳細については、初回講義時提示する。</p>					
先 修 科 目					
なし					
教 科 書、参 考 書					
<p>[教科書]</p> <p>公衆衛生看護学 jP 荒賀直子 インターメディカル</p> <p>[参考書]</p> <p>標準保健師講座 1 公衆衛生看護学概論 標美奈子 医学書院</p>					